

国 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	国語 1 0 9・1 1 0 2 0 9・2 1 0 3 0 9・3 1 0 4 0 9・4 1 0 5 0 9 6 0 9	B 5 1,922	令和5年
17	教育出版	教 出◆	国語 1 1 1・1 1 2 2 1 1・2 1 2 3 1 1・3 1 2 4 1 1・4 1 2 5 1 1・5 1 2 6 1 1・6 1 2	B 5 1,998	
38	光村図書	光 村◆	国語 1 1 3・1 1 4 2 1 3・2 1 4 3 1 3・3 1 4 4 1 3・4 1 4 5 1 3 6 1 3	B 5 1,879	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

国語

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
32冊	東書、教出、光村

2 学習指導要領における教科・学年の目標等

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学年の目標】

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
知識及び技能	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
表現力等 思考力、判断力、	(2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
人間性等 学びに向かう力、	(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【参考：小学校学習指導要領解説 国語編「第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

(2) 学習内容の改善・充実

①語彙指導の改善・充実

中央教育審議会答申において、＜略＞語彙は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素である。このため、語彙を豊かにする指導の改善・充実を図っている。

語彙を豊かにするとは、自分の語彙を量と質の両面から充実させることである。具体的には、意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化などへの理解を通して、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語彙の質を高めることである。このことを踏まえ、各学年において、指導の重点となる語句のまとまりを示すとともに、語句への理解を深める指導事項を系統化して示した。

②情報の扱い方に関する指導の改善・充実

急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり、情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現したりすることが求められている。

話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることが、話や文章を正確に理解することにつながり、また、自分のもつ情報を整理して、その関係を分かりやすく明確にすることが、話や文章で適切に表現することにつながるため、このような情報の扱い方に関する「知識及び技能」は国語科において育成すべき重要な資質・能力の一つである。

③学習過程の明確化、「考えの形成」の重視

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。

また、全ての領域において、自分の考えを形成する学習過程を重視し、「考えの形成」に関する指導事項を位置付けた。

④我が国の言語文化に関する指導の改善・充実

「伝統的な言語文化」，「言葉の由来や変化」，「書写」，「読書」に関する指導事項を「我が国の言語文化に関する事項」として整理するとともに、第1学年及び第2学年の新しい内容として、言葉の豊かさに関する指導事項を追加するなど、その内容の改善を図った。

⑤漢字指導の改善・充実

都道府県名に用いる漢字20字を「学年別漢字配当表」の第4学年に加えるとともに、児童の学習負担に配慮し、第4学年、第5学年、第6学年の配当漢字及び字数の変更を行った。

(3) 学習の系統性の重視

国語科の指導内容は、系統的・段階的に上の学年につながっていくとともに、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習し、資質・能力の定着を図ることを基本としている。このため、小・中学校を通じて、〔知識及び技能〕の指導事項及び〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項と言語活動例のそれぞれにおいて、重点を置くべき指導内容を明確にし、その系統化を図った。

(4) 授業改善のための言語活動の創意工夫

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、どのような資質・能力を育成するかを(1)の指導事項に示し、どのような言語活動を通して資質・能力を育成するかを(2)の言語活動例に示すという関係を明確にするとともに、各学校の創意工夫により授業改善が行われるようにする観点から、従前に示していた言語活動例を言語活動の種類ごとにまとめた形で示した。

(5) 読書指導の改善・充実

<略>各学年において、国語科の学習が読書活動に結び付くよう〔知識及び技能〕に「読書」に関する指導事項を位置付けるとともに、「読むこと」の領域では、学校図書館などを利用して様々な本などから情報を得て活用する言語活動例を示した。

【参考：小学校学習指導要領解説 国語編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 3 教材についての配慮事項」から（抜粋）】

3 教材については、次の事項に留意するものとする。

(1) 教材は、第2の各学年の目標及び内容に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成を通して読書習慣を形成することをねらいとし、児童の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げること。また、第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。

(2) 教材は、次のような観点に配慮して取り上げること。

ア 国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。

イ 伝え合う力、思考力や想像力及び言語感覚を養うのに役立つこと。

ウ 公正かつ適切に判断する能力や態度を育てるのに役立つこと。

エ 科学的、論理的に物事を捉え考察し、視野を広げるのに役立つこと。

オ 生活を明るくし、強く正しく生きる意志を育てるのに役立つこと。

カ 生命を尊重し、他人を思いやる心を育てるのに役立つこと。

キ 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てるのに役立つこと。

- ク 我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を育てるのに役立つこと。
- ケ 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家、社会の発展を願う態度を育てるのに役立つこと。
- コ 世界の風土や文化などを理解し、国際調和の精神を養うのに役立つこと。
- (3) 第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の教材については、各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の形態を調和的に取り扱うこと。また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究事項（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 〔知識及び技能〕の内容を取り上げている箇所	学年の目標(1)	箇所
b 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元数	学年の目標(2) 小学校学習指導要領解説国語編「第2章 国語科の目標及び内容 第2節国語科の内容 3」	個
c 〔思考力、判断力、表現力等〕「書くこと」の言語活動別の主な単元数	学年の目標(2)	個
d 〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」の文種別作品数	学年の目標(2)	個
e 発展的な内容を取り上げている箇所	小学校学習指導要領第1章総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容

① 教科書の特徴をより明確にするため、具体的に調査研究する事項

a 〔知識及び技能〕の内容を取り上げている箇所の名称（調査結果は「別紙2-1」）

言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項の内容を取り上げている箇所の名称

b 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名（調査結果は「別紙2-2」）

- ・ 説明・報告等（例：説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動）
- ・ 質問・インタビュー等（例：質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動）
- ・ 少人数・学級全体での話し合い等（例：互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動）

c 〔思考力、判断力、表現力等〕「書くこと」の言語活動別の主な単元名（調査結果は「別紙2-2」）

- ・ 説明的な文章を書く（調べたことを報告する・意見を述べる等）
- ・ 実用的な文章を書く（日記、手紙や案内等）
- ・ 文学的な文章を書く（短歌・俳句・詩・物語・随筆等）

d 〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」の文種別作品名と筆者名（調査結果は「別紙2-2」）

- ・ 説明的な文章
- ・ 文学的な文章
- ・ 詩歌（詩・短歌・俳句）
- ・ （古典）（漢詩・漢文を含む）

e 発展的な内容を取り上げている箇所の名称

<その他>

- *1 神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料（調査結果は「別紙2-3」）
- *2 北朝鮮による拉致問題の扱い
- *3 防災や自然災害の扱い（調査結果は「別紙2-4」）
- *4 障害者理解に関する扱い（調査結果は「別紙2-5」）
- *5 オリンピック・パラリンピックの扱い（調査結果は「別紙2-6」）
- *6 固定的な性別役割分担意識に関する記述等（調査結果は「別紙2-7」）

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 小学校学習指導要領解説国語編「第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点 (1) 目標及び内容の構成」にある、三つの柱に沿った資質・能力の整理を踏まえ、構成し直した〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に基づいて調査することとした。(a、b、c、d)
- ・ 小学校学習指導要領解説国語編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」の3「教材についての配慮事項」では、「第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」, 「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。」とあることから、言語活動別に整理して調査を行うこととした。(b、c)
- ・ 同様に、「第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の教材については、各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱うこと。」とあることから、文種別に調査を行うこととした。(d)
- ・ 発展的な内容については、小学校学習指導要領第1章 総則「第2 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通的事項 (1) 内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、「(3) 指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。」と示されている。
そのため、教科書に発展的な内容として明記されている主な単元の数について調査することとした。(e)

<その他>

- ・ 学習指導要領では、第6学年の歴史学習で、大和朝廷による国土統一の様子を学習するに当たって、神話・伝承を調べ、国の形成に関する考え方などに関心をもつことを求めているため、神話・伝承の中から、国の形成に関する考え方などについて、児童に興味や関心をもたせることのできる資料について調査する。(*1)
- ・ 東京都教育委員会は、教育目標の基本方針1として「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」を掲げ人権教育を推進してきた観点から、児童・生徒が人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて、調査する。(*2)
- ・ 東京都では、自然災害における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や、自然災害の扱いについて調査する。(*3)
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1である「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成を踏まえ、障害のある人も障害のない人もともに尊重し合いながら活躍できる社会、共生社会の実現を目指す上で、障害のある幼児・児童・生徒に対する理解を深められるようにするため、その扱いについて調査する。(*4)
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。(*5)
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。(*6)

③ 調査研究の方法 (a~eの分野に分類する)

- a 〔知識及び技能〕の内容を取り上げている箇所について整理する。
- b、c 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の言語活動別に分類した主な単元について整理する。
- d 〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」について、説明的な文章、文学的な文章、詩歌等、古典の文種別に作品名と筆者名を整理する。
- e 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2(16)に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整

理する。

<調査の結果、eについては記載の無いことを確認した。>

<その他>

- *1 神話や伝承について取り上げている記述の概要を調査する。
- *2 北朝鮮による拉致問題について取り上げている記述の概要を調査する。
- *3 防災や自然災害について取り上げている記述の概要を調査する。
- *4 障害者理解について取り上げている記述の概要を調査する。
- *5 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている記述の概要を調査する。
- *6 固定的な性別役割分担意識に関する記述等を調査する。

<調査の結果、*2については記載の無いことを確認した。>

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点について、記載する。

- ア 巻末資料
- イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- ウ ユニバーサルデザインの視点
- エ デジタルコンテンツの扱い
- オ その他

「別紙1」【(1)内容ア 調査研究の総括表】(小学校 国語)

項目	a [知識及び技能]の内容を取り上げている箇所				b [思考力, 表現力, 判断力等]「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元数			c [思考力, 表現力, 判断力等]「書くこと」の言語活動別の主な単元数			d [思考力, 表現力, 判断力等]の「読むこと」の文種別作品数				e 発展的な内容を取り上げている箇所
	説明・報告等	質問・インタビュー等	少人数・学級全体での話し合い等	計	説 明 的 意 見 を 述 べる 等 ()	実 用 的 な 文 章 を 書 く (日 記 、 手 紙 や 案 内 等)	語 文 学 的 随 筆 等 ()	説 明 的 な 文 章	文 学 的 な 文 章	詩 歌 (詩)	詩 歌 (俳句・短歌)	(古典) (漢詩・漢文を含む)	計		
発行者															
東書	189	5	11	32	26	4	7	37	44	30	55	63	11	203	0
教出	146	7	13	33	31	6	6	43	28	28	44	37	12	149	0
光村	160	8	17	33	27	7	14	48	34	32	68	58	10	202	0
平均値	165.0	12.3	13.7	32.7	28.0	5.7	9.0	42.7	35.3	30.0	55.7	52.7	11.0	184.7	0.0

※「別紙1」に、第1学年入学期の教材、巻末資料(付録等)及び別冊に掲載されているものは数に含めていない。

・表中の平均値は、項目ごとの各発行者の平均を小数第二位で四捨五入した値を示している。

・b, c は各領域の言語活動別の主な単元の数を示している。

・d は文種別作品数を示している。なお、文学的な文章(昔話)、詩歌等の詩、俳句・短歌、古典、漢詩の数は、「別紙2-1」の「[知識及び技能]の内容を取り上げている箇所の名称」で扱っている作品も含めた数を示している。

・e は教科書に「発展」の表記がある単元又は資料の数を示している。

a 【知識及び技能】の内容を取り上げている箇所		【(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項 (2)情報の扱い方にに関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項】	
学年	教材名	(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2)情報の扱い方にに関する事項
第1学年	ふたごぶた ぶんをつくらう はををつかおう をへををつかおう ねことねつこ ことばあそび のぼすおん いしやといしゃ	・としかんは どんな ところ かたかなを みつけよう かぞえうた かんじの はなし かたかなを かこ ・一ねんせい のほんだな ーはじめて よんだ ほん ・よう日と 日つけ ・ひらがなを つかおう1	・ことばを あつめよう ・かん字を つかおう3 ・かたちの について いる かん字 ・かん字を つかおう4
第2学年	かん字をつかおう1 ・としかんへ 行こう きせつの 足音 はる かん字の 書き方 かん字をつかおう2 かたかなで 書くことば かん字をつかおう3 じゆんじよ	・きせつの 足音 なつ ・言いつたえられて いる お話を 知ろう ・二年生 の 本だな ー本は あたらしい せかいへの 入り口 ・かん字を つかおう4 ・ものの 名前を あらわす ことば ・本で しらべる ・きせつの 足音 あき ・主語と じゆつ語	・かん字の 読み方と おくりがな ・かん字をつかおう7 ・ほんたいの いみの ことば ・同じ ところ、ちがう ところ ・声に 出して みよう ・ことばあそびを 楽しもう ・かん字をつかおう8 ・にた いみの ことば
第3学年	かん字をつかおう1 ・図書館へ行こう きせつの 足音 春 国語じてんの 使い方 漢字を使おう2 全体と中心 漢字の 表す意味 漢字を使おう3	・人物やもの の様子を表す言葉 ・ローマ字① ・きせつの 足音 夏 ・三年生 の本だな ー一心の 養分 ・慣用句を使おう ・漢字を使おう4 ・主語とじゆつ語、つなごうてる？ ・漢字を使おう5	・本から 発見した ことをつたえ合おう ・漢字を使おう7 ・きせつの 足音 冬 ・俳句に 親しもう ・漢字を使おう8 ・考えと 理由 ・漢字を使おう9 ・くわしく 表す言葉 ・漢字を使おう10 ・漢字の 組み立てと意味
第4学年	漢字を使おう1 ・図書館へ行こう きせつの 足音 春 漢字辞典の 使い方 漢字を使おう2 引用する 漢字を使おう3 人物の 気持ちと行動を表す言葉	・漢字を使おう6 ・観点を 立ててくらべる ・季節の 足音 秋 ・つなぐ言葉 ・じゆく語の意味 ・漢字を使おう7 ・人物の せいがかくと行動を表す言葉 ・言葉の意味と 使い方	・百人一首に 親しもう ・ブックトークを しよう ・漢字を使おう8 ・季節の 足音 冬 ・漢字を使おう9 ・理由を ざんみする ・漢字を使おう10 ・同じ読み方の 漢字 ・漢字を使おう11
第5学年	漢字を使おう1 ・図書館へ行こう 季節の 足音 春 敬語 漢字を使おう2 事実と考え 漢字の 成り立ち いにしえの 言葉に 親しもう	・漢字を使おう6 ・季節の 足音 秋 ・熟語の 構成と意味 ・和語・漢語・外来語 ・漢字を使おう6 ・心情を表す言葉 ・日本語と 外国語 ・読書の 世界を 広げよう ・漢字を使おう7	・季節の 足音 冬 ・いにしえの 人の えがく 世界 ・漢字を使おう8 ・考えの ちがひ ・方言と 共通語 ・漢字を使おう9 ・漢字を使おう10
第6学年	漢字を使おう1 ・社会教育施設へ行こう 季節の 足音 春 三字以上の 熟語の 構成 漢字を使おう2 原因と結果 文と文との つながり 漢文の 親しもう	・その 修飾は、どこにかかるとの？ ・情報の 信頼性と 著作権 ・季節の 足音 秋 ・漢字を使おう6 ・複合語 ・漢字を使おう7 ・似た意味の 言葉の 使い分け ・心に 残った、この一文	・漢字を使おう8 ・季節の 足音 冬 ・古典芸能 への 招待状 ・言葉の 移り変わり ・漢字を使おう9 ・未来への 情報活用 ・衰弱を くらぶ

		a [知識及び技能]の内容を取り上げている箇所名称	
学年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項
教材名			
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・かきと かぎ ・ことばをあつめよう ・ねこと わつこ ・ほんをよもう ・ことばをつなごう ・しじゆつおん ・のぼす おん ・しゃ、しゆ、しよ 	<ul style="list-style-type: none"> ・は、を、へ ・とじよかん へいこう ・おほなしのくに ・かたかなの ことば ・かん字の はじまり ・かそえぶよう ・日づけと よう日 ・天に のぼった おけやさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・かたかな ・かん字の よみかた ・「おほなしどうぶつえん」をつくろう ・文を つくろう ・かわる よみかた ・ことばで つたえよう ・にて いる かん字 ・しりとりで あそぼう
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・回文を たのしもう ・画と 書きじゆん ・一年生で 学んだ 漢字① ・むかしの うたを 読もう ・かたかなで 書く 言葉 ・本で しらべよう ・なかまの 言葉と 漢字 ・「言葉のなかまごかしゲーム」をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・いなばの しろうさぎ ・うれしくなる 言葉 ・ひろがる 読書の せかい ・二つの漢字のできている言葉 ・一年生で学んだ漢字② ・ほんたいのいみの言葉、にたいみの言葉 ・「あいうえお」であそぼう ・「お話しじゆつかん」を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字のつかい方と読み方 ・一年生で学んだ漢字③ ・かるたであそぼう ・主語としゆつ語 ・同じ読み方の漢字 ・音や様子をあらわす言葉 ・細み合わせてできている漢字 ・一年生で学んだ漢字④
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典のつかい方 ・漢字学習ノート ・二年生で学んだ漢字① ・本をさがそう ・漢字の音と訓 ・二年生で学んだ漢字② ・ローマ字 ・ローマ字とコンピューター 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろがる読書のせかい ・送りがな ・二年生で学んだ漢字③ ・俳句に親しむ ・まぜつつの言葉を集めよう ・気持ちをつたえる話し方・聞き方 ・へんとつくり ・二年生で学んだ漢字④ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おすすめ図書カード」を作ろう ・こそあど言葉 ・ことわざ・慣用句 ・文の組み立て ・漢字の組み立て ・二年生で学んだ漢字⑤ ・十二支と月のよび名 ・二つの漢字の組み合わせ
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の部首 ・二年生で学んだ漢字① ・分類をもとに本を見つけよう ・漢字辞典の使い方 ・短歌の世界 ・漢字の音を表す部分 ・都道府県名に用いている漢字 ・三年生で学んだ漢字② 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろがる読書の世界 ・送りがなのつけ方 ・三年生で学んだ漢字③ ・修飾語 ・「月」のつく言葉 ・「読書発表会」をしよう ・言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ ・いろいろな意味を表す漢字 	<ul style="list-style-type: none"> ・二年生で学んだ漢字⑥
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習ノート ・四年生で学んだ漢字① ・話し言葉と書き言葉 ・漢文に親しむ ・敬語 ・複合語 ・四年生で学んだ漢字② ・図書館を活用しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろがる読書の世界 ・鳥 ・熟語の構成 ・四年生で学んだ漢字③ ・方言と共通語 ・「古典」を楽しむ ・かなづかいで気をつけること ・漢字の成り立ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・三年生で学んだ漢字④ ・二つのことからつなぐ言葉 ・故事成語 ・熟語のでき方 ・三年生で学んだ漢字⑤ ・点(・)を打つところ ・書 ・同じ読み方の漢字の使い分け
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・春はあけぼの ・主語と述語の対応をかくにんしよう ・三字以上の熟語の構成 ・五年生で学んだ漢字① ・雨 ・世代による言葉のちがいがい ・複数の意味をもつ漢字 ・五年生で学んだ漢字② 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設を活用しよう ・ひろがる読書の世界 ・「知恵の言葉」を集めよう ・なぜ、わかり合えなかつたのかな？ ・熟語の使い分け ・五年生で学んだ漢字③ ・言葉は時代とともに ・音を表す部分 	<ul style="list-style-type: none"> ・五年生で学んだ漢字④ ・「読書タイムライン」を作って交流しよう ・その場にふさわしい言い方 ・同じ劇をもつ漢字 ・五年生で学んだ漢字⑤ ・日本語の文字 ・さまざまな読み方 ・特別な読み方の言葉

		a [知識及び技能]の内容を取り上げている箇所名称		
学年	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項	
	教材名			
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・はをへををつかおう ・とよかんと なかよし ・ことばを みつけよう ・かきと かき ・ふんをつくらう ・ふんをつくらう ・ねことねこ ・おばさんとおばあさん ・あいうえおであそぼう ・おもちゃとおもちや 	<ul style="list-style-type: none"> ・かたかなを かこう ・日つけと よう日 ・むかしはなしを よもう ・おかの おなべ ・ことばであそぼう ・ことばって、おもしろいな ・きいて たのしもう ・かたかなの かたち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばあそびを つくらう ・にている かん字 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館たんけん ・きせつのことば1 春が いっぱい ・じゆんじよ ・いなはの、白うさぎ ・同じ ふぶんをもつ かん字 ・かん字のひろば① ・メモをとる とき ・きせつのことば2 夏が いっぱい 	<ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの本をしようかいしよう ・ミリーのすてきなぼうし ・かん字のひろば② ・かたかなのひろば ・ことばあそびをしよう ・なかまのことばとかん字 ・かん字のひろば③ ・主語と述語に 気をつけよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・かん字の読み方 ・きせつのことば3 秋が いっぱい ・にたいみのことば、ほんたいのいみのことば ・せかいーの語 ・かん字のひろば④ ・きせつのことば4 冬が いっぱい ・かたかなで書くことば ・ことばを楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ようすをあらわすことば ・カンジーはかせの犬はつめい ・かん字の広場⑤
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館たんていだん ・国語辞典を使おう ・漢字の広場① ・きせつのことば1 春のくらし ・漢字の音と訓 ・漢字の広場② ・全体と中心 ・漢字の広場③ 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句を楽しもう ・こそめと言葉を使いこなそう ・引用するとき ・きせつのことば2 夏のくらし ・本で知ったことをクイズにしよう ・鳥になつたさようりゆうの語 ・漢字の組み立て ・ローマ字 	<ul style="list-style-type: none"> ・修飾語を使って書こう ・きせつのことば3 秋のくらし ・ことわざ・故事成語 ・漢字の意味 ・短歌を楽しもう ・漢字の広場④ ・きせつのことば4 冬のくらし ・カンジーはかせの言訓かるた 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の広場⑤ ・つたわる言葉で表そう ・漢字の広場⑥
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の達人になろう ・漢字辞典を使おう ・きせつのことば1 春の楽しみ ・カンジーはかせの都道府県の旅1 ・漢字の広場① ・考えと例 ・漢字の広場② ・つなぎ言葉のはたらきを知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌・俳句に親しもう(一) ・要約するとき ・カンジーはかせの都道府県の旅2 ・季節の言葉2 夏の楽しみ ・本のポップや帯を作ろう ・神様の階段 ・いるいるな意味をもつ言葉 ・ローマ字を使いこなそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の広場③ ・漢字を正しく使おう ・季節の言葉3 秋の楽しみ ・慣用語 ・短歌・俳句に親しもう(二) ・漢字の広場④ ・季節の言葉4 冬の楽しみ ・熟語の意味 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の広場⑤ ・つなかりに気をつけよう ・漢字の広場⑥
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を使いこなそう ・漢字の成り立ち ・季節の言葉1 春の空 ・原因と結果 ・敬語 ・漢字の広場① ・古典の世界(一) ・目的に応じて引用するとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ読み方の漢字 ・季節の言葉2 夏の夜 ・作客で広げるわたしたちの読書 ・モモ ・漢字の広場② ・漢字の広場③ ・方言と共通語 ・季節の言葉3 秋の夕 	<ul style="list-style-type: none"> ・浦島太郎「御伽草子」より ・和語・漢語・外来語 ・カンジー博士の暗号読解 ・古典の世界(二) ・漢字の言葉4 冬の朝 ・季節の言葉4 冬の朝 ・熟語の読み方 ・漢字の広場⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合語 ・言葉を使い分けよう ・漢字の広場⑥
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館を活用しよう ・漢字の形と音・意味 ・季節の言葉1 春のいぶき ・漢字の広場① ・主張と事例 ・文の組み立て ・天地の文 ・情報と情報をつなげて伝えるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の言葉2 夏のさかり ・私と本 ・星空を届けたい ・漢字の広場② ・漢字の広場③ ・熟語の成り立ち ・季節の言葉3 秋の深まり ・話し言葉と書き言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典芸能の世界 ・狂言「柿山伏」を楽しもう ・カンジー博士の漢字学習の秘伝 ・漢字の広場④ ・季節の言葉4 冬のおとずれ ・日本の文字文化 ・漢字の広場⑤ ・使える言葉にするために 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特徴 ・漢字の広場⑥

【別紙2-2】(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 東書】(小学校 国語)

学年	b【思考力、表現力、判断力等】 「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名		c【思考力、表現力、判断力等】 「書くこと」の言語活動別の主な単元名		d【思考力、表現力、判断力等】読むこと」の文種別作品名と筆者名					
	説明・報告等	質問・インタビュー等	少年数・学級全体での話し合い等	教材名	教材名	教材名	説明的な文章	文学的な文章	詩歌 (詩)(俳句・短歌)	(古典) (漢詩・漢文を含む) 作品名(筆者名)
第1学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに はなそう ・まいて、つたえよう ・はなしたいな ききたいな ・すきな きょうかを はなそう ・小学校の ことを しよう ・かいしよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なにに 見えるかな 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年数・学級全体での話し合い等 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな こと したよ ・「のりものカード」をつくろう ・「おもしろいこと」を報告するブック ・おもしろいこと ・一年かんの おもいでブック 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことばあそびうたをつくらう ・おはなしを かこう ・おはなしを つく 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さとうとしお ・どう やって みを まもるのかな ・はじめて よんだ ほん(かどのえいこ) ・いろいろな ふね ・子どもを まもる どうぶつたち(なるしまえつお) ・おとうとねずみ ・アスマー(レオ・レオニ) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どん こと どん(ぶしか) ・えんこ ・おおきな かぶ(うちだりひこ) ・さこ(あひるのちお) ・かいがら(もりやまみや) ・サラダで げんき(かどのえいこ) ・おとうとねずみ ・アスマー(レオ・レオニ) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風の ゆうひんやさん(たけしたふみこ) ・名前を 見て ちようだい(あまんきみこ) ・だいだらぼう(ニャ) ・かきこじぞう(いわさきよしろ) ・お手紙(アーノルド・ローペル) 	<p>詩歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あめですよ(とよたかずひこ) ・あひるの あくび(まささちお) ・たべもの(なかえとしお) ・あるけ あるけ(つるみまさお) ・き(やまなかとしこ) ・かそえつた ・ありがとう(しようじたくし) ・みみずの たいそう(かみざわとしこ) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たけのこ くん(ぶしかえ) ・おわかの はる(あおとかいち) ・たんだぼ(かわさきひろし) ・いるか(たにかわしゆんたろう) ・早口ことば ・いろんな おとの あめ(きじだえりこ) ・空に ぐらんと 手をのばせ(しんざわとしこ) ・あまやどり(つるみまさお) ・うさぎ(文部省唱歌) ・ことばあそび ・雪(文部省唱歌) ・さかさことば ・いろは歌 ・数え歌
第2学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話そう、二年生の わたし ・町で 見つけた ことを 話そう ・「たからものを しようかいしよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はなした、ききたい、すきな こと ・みんなで 話し合おう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」をつたえよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんさつした ことを 書こう ・みんな ことを して いよう ・「どうぶつかカード」を作ろう ・くらべて つたえよう ・ことばの アルバム 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を見て お話を 書こう 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たんぼぼ(ひらやまかずこ) ・どうぶつ園の かんばん ・と ガイドブック(あまんきみこ) ・本は あたらしい せかいへの、入り口(こばやしよしつぐ) ・イルカと 話したい(むらやまつかぜ) ・ビーバーの 大工事(ながわしろう) ・あなの やくわり(にいだゆみこ) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すいせんのラッパ(工藤直子) ・ワニのおじいさんのたから物(川崎洋) ・サーカスのライオン(川村たかし) ・モチモチの木(斎藤隆介) ・ゆうすげ村の小さな旅館(ウサギのダイコン(茂市久美子) 	<p>詩歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の子ども(門倉鉄) ・野川(武蔵裕子) ・ふきのとう(みずかみかすよ) ・西瓜の詩(山村善鳥) ・緋ひこうき(神沢利子) ・夕日(がせなかをあしてく) ・まほくが ここに(まど・みちお) ・ふどう(与田準一) ・ちらちらゆき(まど・みちお) ・【22】(東直子ほか) 		
第3学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話したいな、すきな時間 ・道具のうっかりかわりを説明しよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたのこと、教えて ・グループの合い言葉を決めよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内の手紙を書こう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしの説明文」を書こう ・道具のひみつをつたえよう ・クラスの思い出作りのために ・わたしのベストブック 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心が動いたことを詩で表そう 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然のかくし絵(矢高裕) ・「給食」だよ(読みくらべよう) ・心の養分(茂市久美子) ・ジャイアントとぼく(木村節) ・せつやくさいの今と昔(早川典子) ・カミツキガメは悪者か(松沢陽士) 	<p>詩歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の子ども(門倉鉄) ・野川(武蔵裕子) ・ふきのとう(みずかみかすよ) ・西瓜の詩(山村善鳥) ・緋ひこうき(神沢利子) ・夕日(がせなかをあしてく) ・まほくが ここに(まど・みちお) ・ふどう(与田準一) ・ちらちらゆき(まど・みちお) ・【22】(東直子ほか) 			

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 東書】 (小学校 国語)

学年	b (思考力, 表現力, 判断力等) 「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名		c (思考力, 表現力, 判断力等) 「書くこと」の言語活動別の主な単元名		d (思考力, 表現力, 判断力等)「読むこと」の文種別作品名と筆者名				
	説明・報告等	質問・インタビュー等	説明的な文章を書く (調べたことを報告する・意見を述べる等)	実用的な文章を書く (日記, 手紙や案内等)	文学的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語・随筆等)	説明的な文章			
第4学年	<p>説明・報告等</p> <p>教材名</p> <p>聞いてほしいな, こんな出来事</p> <p>調べたことをほうこくしよう</p>	<p>質問・インタビュー等</p> <p>教材名</p> <p>話を聞いて質問しよう</p>	<p>説明的な文章を書く (調べたことを報告する・意見を述べる等)</p> <p>教材名</p> <p>わたしのクラスの「生き物図かん」</p> <p>「和と洋新聞」を作ろうか</p> <p>自分なら, どちらを運ぶか</p> <p>十年後のわたしへ</p>	<p>実用的な文章を書く (日記, 手紙や案内等)</p> <p>教材名</p> <p>お願いやお礼の手紙を書こう</p>	<p>文学的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語・随筆等)</p> <p>教材名</p> <p>山場のある物語を書こう</p>	<p>説明的な文章</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>ヤドカリとイソギンチャク (武田正倫)</p> <p>広吉を読みくらべよう</p> <p>本は楽しむもの (米村でんじろう)</p> <p>「できない」の先に (吉藤オリイ)</p> <p>くらしの中の和と洋</p> <p>教え方を生み出そう (飯田朝子)</p>	<p>文学的な文章</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>こわれた子の楽器 (野呂 昶)</p> <p>走れ (村中李衣)</p> <p>一つの花 (今西祐行)</p> <p>ごんぎつね (新美南吉)</p> <p>世界一美しいぼくの村 (小林豊)</p> <p>さみに (和合亮一)</p> <p>風のあと (北原白秋)</p> <p>舞 (木坂涼)</p> <p>【俳句・短歌】</p> <p>【19】(服部真里子ほか)</p>	<p>詩歌</p> <p>(詩) (俳句・短歌)</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>【詩】</p> <p>水平線 (小泉周二)</p> <p>蝶々 (山村善鳥)</p> <p>てんとうむし (都築益世)</p> <p>おれはかまきり (かまきりりゅうじ)</p> <p>ふしぎ (金子みすゞ)</p> <p>よかつたな (まど・みちお)</p> <p>さみに (和合亮一)</p> <p>風のあと (北原白秋)</p> <p>舞 (木坂涼)</p> <p>【俳句・短歌】</p> <p>【19】(服部真里子ほか)</p>	<p>(古典)</p> <p>(漢詩・漢文を含む)</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>竹取物語</p> <p>平家物語</p> <p>徒然草 (兼好法師)</p> <p>おくのぼろ道 (松尾芭蕉)</p> <p>学問のすゝめ (福沢諭吉)</p> <p>枕草子 (清少納言)</p>
第5学年	<p>説明・報告等</p> <p>教材名</p> <p>提案します, 一週間チャレンジ</p> <p>資料を見て考えたことを話そう</p>	<p>質問・インタビュー等</p> <p>教材名</p> <p>知りたいことを聞き出そう</p>	<p>説明的な文章を書く (調べたことを報告する・意見を述べる等)</p> <p>教材名</p> <p>地域のみよりよく伝えよう</p> <p>「和の文化を発信しよう」</p> <p>どう考える? もしもの技術</p> <p>わたしの文章見本帳</p>	<p>実用的な文章を書く (日記, 手紙や案内等)</p> <p>教材名</p> <p>お願いやお礼の手紙を書こう</p>	<p>文学的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語・随筆等)</p> <p>教材名</p> <p>山場のある物語を書こう</p>	<p>説明的な文章</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>インターネットは冒険だ (藤代裕之)</p> <p>新聞記事を読み比べよう</p> <p>「すてきなこと(あさのあつこ)」</p> <p>全ては, 一つの言葉から (鳥井雪)</p> <p>和の文化を受けつぐ (和菓子を作る (中山圭子))</p> <p>和菓子職人ビル・リオン (中山圭子)</p> <p>和菓子職人の思い出 (ケルローさんの思い出)</p> <p>ロボット開発は進む (弱いロボット) だからできること (岡田美智男)</p> <p>手塚治虫 (国松俊英)</p>	<p>詩歌</p> <p>(詩) (俳句・短歌)</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>【詩】</p> <p>ほくらのもの (与田準一)</p> <p>春の河 (山村善鳥)</p> <p>ガラス窓の向うで (立原道造)</p> <p>精乱雲 (大槻桂)</p> <p>未知へ (木村信子)</p> <p>落葉 (はたちよしこ)</p> <p>草が枯れるのは (岸田 稔子)</p> <p>【俳句・短歌】</p> <p>【10】(正岡子規ほか)</p>	<p>(古典)</p> <p>(漢詩・漢文を含む)</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>竹取物語</p> <p>平家物語</p> <p>徒然草 (兼好法師)</p> <p>おくのぼろ道 (松尾芭蕉)</p> <p>学問のすゝめ (福沢諭吉)</p> <p>枕草子 (清少納言)</p>	
第6学年	<p>説明・報告等</p> <p>教材名</p> <p>プレゼンテーションをしよう</p> <p>伝えよう, 感謝の気持ち</p>	<p>質問・インタビュー等</p> <p>教材名</p> <p>意見を聞いて考えよう</p>	<p>説明的な文章を書く (調べたことを報告する・意見を述べる等)</p> <p>教材名</p> <p>いざというときのために</p> <p>発信しよう, 私たちのSDGs</p> <p>どう立ち向かう? もしも</p> <p>の世界</p> <p>成長をふり返って未来へ進もう</p>	<p>実用的な文章を書く (日記, 手紙や案内等)</p> <p>教材名</p> <p>お願いやお礼の手紙を書こう</p>	<p>文学的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語・随筆等)</p> <p>教材名</p> <p>山場のある物語を書こう</p>	<p>説明的な文章</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>インターネットの投網 (林がないのか) (篠谷いつみ)</p> <p>インターネットの投網を読み比べよう</p> <p>本がいざなう もう一つの世界へ (上稀菜穂子)</p> <p>世界は必ず変えられる (中瀬泉)</p> <p>「永遠のこみ」 (保坂直紀)</p> <p>生分解性プラスチックとは (中瀬泉)</p> <p>使った漁網がかばんに生まれ変わる (中野書文)</p> <p>宇宙からのながめが教えてくれること (油井唯美也)</p> <p>食品からつなげる宇宙 (込山立人)</p> <p>宇宙に生命の起源を求め (藪田ひかる)</p> <p>君たちに伝えたいこと (日野原重明)</p>	<p>詩歌</p> <p>(詩) (俳句・短歌)</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>【詩】</p> <p>いのち (小海永二)</p> <p>五月 (室生犀星)</p> <p>子ニス (竹中郁)</p> <p>祖母 (三好洋治)</p> <p>いま始まる新しいいま (川崎洋)</p> <p>素朴な拳 (八木重吉)</p> <p>春に (谷川俊太郎)</p> <p>【俳句・短歌】</p> <p>【12】(徳村弘ほか)</p>	<p>(古典)</p> <p>(漢詩・漢文を含む)</p> <p>作品名 (筆者名)</p> <p>論語 (孟浩然)</p> <p>万葉集</p> <p>狂言「神鳴」</p> <p>竹取物語</p>	

【別紙2-2】(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教出】(小学校 国語)

学年	b [思考力, 表現力, 判断力等] 「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名		c. [思考力, 表現力, 判断力等] 「書くこと」の言語活動別の主な単元名		d [思考力, 表現力, 判断力等]「読むこと」の文種別作品名と筆者名										
	説明・報告等	質問・インタビュー等	少人数・学級全体での話し合い等	説明的な文章を書く(朗読・発表・報告する・意見を述べる等)	実用的な文章を書く(日記、手紙や案内等)	文学的な文章を書く(短歌・俳句・詩・物語・随筆等)	説明的な文章	文学的な文章	詩歌 (詩・俳句・短歌)	(古典) (漢詩・漢文を含む) 作品名(筆者名)					
第1学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに はなそう はなつのおもいでを はなそう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめて した 学校の こと 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつけて はなそう、はなしをつなごう ・なにを して いるのか な? 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく みで かこう しらせたい ことを かこう ・たのしかった ことを かこう ・しらせたいな、いきもの の ひみつ ・「のりものカード」で しらせよう ・おもいで の アルバム 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・せんせい、あのね えにつきを かこう ・ころが あたかたくなる 手がみ 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きこえて きたよ、こんなの ことば 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すずめの くらし ・だれが、たべたのでしょ う ・ぼたたく じどう車 ・うみへの ながい たび (いままじとも) ・みぶりで つたえる (むらまさいち) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まさんと ありさんの こあいさつ ・けむりの ましや ・おおきな かぶ(うらだり さこ調) ・けんかした 山(あんどろ みきお) ・スイミー(レオ＝レオニ) ・お手がみ(アール＝ロ＝ベル) 	<p>詩歌 (詩・俳句・短歌)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいうえおの うた(まど・みちお) ・かきくげこの うた(まど・みちお) ・きやきやきよの うた(まど・みちお) ・かぞえうた ・ひろがる 書空 ・あめの うた(つるみまさお) ・ゆき (かわさきひろし) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はるねこ(かんのゆうこ) ・きつねの おきやくさま (あまのきみこ) ・わにのおじいさんのたか(らものかわさきひろし) ・ないた赤おに(はまだひろすけ) ・かさこじぞう(いわさききょうこ) ・アレクサンダとせんまいねずみ(レオ＝レオニ) 	<p>詩歌 (詩・俳句・短歌)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろがる わかば ・ちいさい おおきいこうやま(よこ) ・いろはうた ・おてだまうた(わらべうた) ・てんととうむし(かわさきひろし) ・せかいじゅうの海が(みずたにまさる) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白い花びら(やえがしなおこ) ・紙ひこうき、きみへ(野中稜) ・わすれられないおくりもの(スーザン＝ハーレー) ・モチモチの木(齋藤隆介) ・おにたのぼうし(あまのきみこ) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うめぼしのはたらき ・めだか(杉浦宏) ・くらしと絵文字(太田幸夫) ・川をつなぐちえ 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うめぼしのはたらき ・めだか(杉浦宏) ・くらしと絵文字(太田幸夫) ・川をつなぐちえ 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うめぼしのはたらき ・めだか(杉浦宏) ・くらしと絵文字(太田幸夫) ・川をつなぐちえ
第2学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごろくトーク ・話したいな、聞きたいな、夏休みのこと ・おぼじきのあそび方 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろい 公園 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラスお楽しみ会」をひらこう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんざつ養風カード ・「生きものクイズ」で しらせよう ・町の「すてき」をつたえま す ・おもしろいもの、見つけ たよ ・おもちゃのせつめい書を書こう ・こんなことができるようになつたよ 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つづけて みよう 一日 記 ・みじかい言葉で 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを手紙に 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 				
第3学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしのたからもの ちいきの行事 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「りす公園」はどこにある? 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じこしようかいゼンゴゲーム ・世界の人につたわるように ・わたしたちの絵文字 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを手紙に 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発見ノート」 ・「クラスのお楽しみ会」をひらこう ・取材したことをほうこく文に ・強く心にこっていることを 				

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教出】(小学校 国語)

学年	「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名		c. [思考力、表現力、判断力等] 「書くこと」の言語活動別の主な単元名		d. [思考力、表現力、判断力等]「読むこと」の文種別作品名と著者名					
	説明・報告等	質問・インタビュー等	少人数・学級全体での話し合い等	説明的な文章を書く(調べたことを報告する・意見を述べる等)	説明的な文章を書く(短歌・俳句・詩・物語・随筆等)	文学的な文章を書く(日記、手紙や案内等)	説明的な文章	文学的な文章	詩歌 (詩・俳句・短歌)	(古典) (漢詩・漢文を含む)
第4学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真から読み取る ・手話であいさつをしよう ・「便利」をさがそう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモの取り方のくふう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つないで つないで ・みんなが楽しめる新スポーツ 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけよう、ひつたりりの言葉 ・リーフレットでほうこく ・作るう学級新聞 ・クラス「不思議ずかん」を作ろう ・自分の成長をふり返って 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな手紙 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ろう！「ジョー」トジョー 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぞうの重さを量る ・花を見つげる手がかかり(古原順平) ・ウミガメの命をつなぐ(松田乾) ・くらしを便利にするために(水田正己) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白いぼうし(あまみぎみこ) ・一つの花(今西祐行) ・こんぎつね(新美南吉) ・木竜うるし(木下順二) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【詩】 ・ひろがる 波もん ・春のうた(草野心平) ・あり(ロベール＝デズノス) ・ヘビ(ジュール＝ルナール) ・ミドリカナヘビ(ジュール＝ルナール) ・ニンジン(まど・みちお) ・ケムシ(まど・みちお) ・ミス(まど・みちお) ・おおきな木(島田陽子) ・雲(文部省唱歌) ・積った雪(金子みすゞ) 【俳句・短歌】 ・【11】(持統天皇ほか) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語 そろそろ(三遊亭円慈)
第5学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ずいせんしよう「町じま」 ・「ひみつを調べて発表しよう」 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「聞かせて！とっておき」の話 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つないで つないで」 	<p>情報ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内やしようかいのポスト ・世界遺産 白神山地からの提言 一意見文を書こう ・生活をよりよくなる提案 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな手紙 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ろう！「ジョー」トジョー 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ことなる星方 ・言葉と事実(福沢周亮) ・フオオの森が支える豊かな自然(斎藤宗勝) ・白神山地の自然保護―「緩衝地域」の役割―(牧田肇) ・まんがの方法(石田佐恵子) ・みすゞさがしの旅―みんなちがって、みんないい(矢崎節夫) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつか、大切なところ(魚住直子) ・大逆じいさんとがまん(椋鳩十) ・雪わたたり(宮沢賢治) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【詩】 ・ひろがる つばさ ・水平線(小泉周二) ・うくいす(武蔵悦子) ・葉かな(木重吉) ・鳴く虫(高橋元吉) ・山のあなた(カール＝ブツセ) ・雪(三好達治) ・ぼたばたのうた(笠生麗) ・大漁(金子みすゞ) ・わたしと小鳥とみすゞと(金子みすゞ) 【俳句・短歌】 ・【4】(山口素堂ほか) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春眠(孟浩然) ・静夜思(李白) ・論語 ・文学 ・竹取物語 ・平家物語 ・伊曾保物語
第6学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分との対話 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「聞かせて！とっておき」の話 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つないで つないで」 	<p>考えを図や表に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを図や表に ・みんなで作ろうパンフレット ・十二歳の主張 ・六年間の思い出をつづろう―卒業文集 ・言葉と私たち ・出会った言葉をふり返ろう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな手紙 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ろう！「ジョー」トジョー 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスは暑いほどおいしい？ ―グラフの読み取り ・雪は新しいエネルギー―未来へつなぐエネルギー―社会(畑山政良) ・あなただはどう感じる？ ・ぼくの世界、君の世界(西研) ・津田梅子 ―未来をきりひらく「人」への思い(高橋祐子) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あの坂をのぼれば(形みき子) ・川とリリオ(いぬいとみこ) ・きつねの窓(安屋直子) ・「迷う」(日高敏隆) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【詩】 ・ひろがる ぼ ・風景 純羅もさいく(山村暮鳥) ・雨ニモマケズ(宮沢賢治) ・イナゴ(まど・みちお) ・紙風船(黒田三郎) 【俳句・短歌】 ・【8】(寂蓮法師ほか) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枕草子(清少納言) ・万葉集 ・つづちやん(夏目漱石) ・杜子春(芥川龍之介)

【別紙2-2】(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 光村】(小学校 国語)

学年	b【思考力、表現力、判断力等】 「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名		c【思考力、表現力、判断力等】 「書くこと」の言語活動別の主な単元名		d【思考力、表現力、判断力等】「読むこと」の文種別作品名と筆者名			
	説明・報告等	質問・インタビュー等	説明的な文章を書く (調べたことを報告する・意見を述べる等)	実用的な文章を書く (日記、手紙や案内等)	説明的な文章	文学的な文章	詩歌 (詩)・俳句・短歌	(古典) (漢詩・漢文を含む)
第4学年	<p>教材名</p> <p>調べて話そう、生活調査隊</p> <p>教材名</p> <p>力を合わせてぼらぼらに</p> <p>教材名</p> <p>少ない、きいて、きいてみよう</p> <p>教材名</p> <p>子どもも来料で何を</p>	<p>教材名</p> <p>少人数・学級全体での話し合い等</p> <p>教材名</p> <p>新間を作ろう</p> <p>教材名</p> <p>ひみつの言葉を引き出そう</p>	<p>教材名</p> <p>説明的な文章を書く (調べたことを報告する・意見を述べる等)</p> <p>教材名</p> <p>「なりきって書こう」</p> <p>教材名</p> <p>お礼の気持ちを書こう</p>	<p>教材名</p> <p>「書くこと」の言語活動別の主な単元名</p> <p>教材名</p> <p>文法的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語・随筆等)</p> <p>教材名</p> <p>名前を使って書こう</p> <p>教材名</p> <p>名前を使って書こう</p>	<p>説明的な文章</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>思いやりの子ザイン(木村博之)</p> <p>文学的な文章</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>白いぼうし(あまみきみこ)</p>	<p>詩歌</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>かがやき(羽曾節忠)</p> <p>詩</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>銀色の裏地(石井隆美)</p>	<p>(古典)</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>枕草子(清少納言)</p>	
第5学年	<p>教材名</p> <p>「子どもも来料」で何を</p>	<p>教材名</p> <p>「話し合い」</p>	<p>教材名</p> <p>「語り」</p>	<p>教材名</p> <p>「書くこと」</p>	<p>説明的な文章</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>原立てる(野口廣)</p>	<p>詩歌</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>かんがえるのつて おもしろい(谷川俊太郎)</p>	<p>(古典)</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>天地の文(福沢諭吉)</p>	
第6学年	<p>教材名</p> <p>「今、私は、ほくは」</p>	<p>教材名</p> <p>「話し合い」</p>	<p>教材名</p> <p>「語り」</p>	<p>教材名</p> <p>「書くこと」</p>	<p>説明的な文章</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>夢うから楽しい(中村真)</p>	<p>詩歌</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>夢うから楽しい(中村真)</p>	<p>(古典)</p> <p>作品名(筆者名)</p> <p>天地の文(福沢諭吉)</p>	

「別紙2-3」 【神話や伝承を知り、日本の文化や伝統に関心をもたせる資料】（ 小学校 国語 ）

発行者名	「教材名」	【掲載方法】	記述の概要(学年上/下 掲載ページ)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・「言いつたえられたらいるお話を知ろう」 ・「五年生の本だな」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文、本の紹介 ・本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やまたのおろち」の紹介(2年上P99) ・「絵物語古事記」の紹介(5年P106)
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・「いなばの しろさぎ」 ・「2年生で読みたい本③」 ・「4年生で読みたい本②」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文、イラスト ・本の紹介 ・本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いなばの しろさぎ」の内容と全文掲載(2年上P88～89・P128～131) ・「はじめての古事記」の紹介(2年下P149) ・「日本の神話」の紹介(4年上P150)
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・「いなばの 白うさぎ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文、イラスト、本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いなばの 白うさぎ」の内容と全文掲載(2年上P62～63・P146～149)

発行者名	「教材名」	【掲載方法】	記述の概要(学年以上/下 掲載ページ)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・「いろいろなつたえ方」 ・「いざというときのために」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の一部、写真 ・本文、イラスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・火事に関する記述(3年下P62) ・自然災害や防災への取組に関する記述(6年P62～67)
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・「2年生で読みたい本④」 ・「くらしと絵文字」 ・「3年生で読みたい本④」 ・「4年生で読みたい本②」 ・「4年生で読みたい本④」 ・「5年生で読みたい本④」 ・「パナルデイスカッジョン →地域の防災」 ・「みんなで作ろうパンフレット」 ・「地域の施設を活用しよう」 ・「6年生で読みたい本①」 ・「6年生で読みたい本②」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介 ・本文の一部、イラスト ・本の紹介 ・本の紹介 ・本の紹介 ・本の紹介 ・本文、イラスト、写真 ・本文、イラスト、写真 ・本文の一部、写真 ・本の紹介 ・本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震に関する本の紹介(2年下P150) ・地震や火事に関する記述(3年下P15～16) ・津波や地震に関する本の紹介(3年下P138) ・東日本大震災に関する本の紹介(4年上P151) ・地震、津波、火山の噴火等に関する本の紹介(4年下P149) ・阪神・淡路大震災に関する本の紹介(5年下P161) ・地域の防災に関する記述(6年上P52～57) ・地域の防災に関する記述(6年上P58～61) ・防災センターに関する記述(6年上P93) ・東日本大震災や防災等に関する本の紹介(6年上P132～133) ・津波に関する本の紹介(6年上P135)
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・「ロボット」 ・「本の世界を広げよう」 ・「本のポップや帯を作ろう」 ・「もしものときにそなえよう」 ・「本の世界を広げよう」 ・「イーハトーヴの夢」 ・「本の世界を広げよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介 ・本の紹介 ・本の紹介 ・本文、イラスト ・本の紹介 ・本文の一部、写真 ・本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害現場に関する本の紹介(2年下P96) ・防災教室に関する本の紹介(3年上P146) ・東日本大震災に関する本の紹介(4年上P106) ・自然災害に対する備えの記述(4年下P84～89) ・震災に関する本の紹介(5年P270) ・地震、洪水、津波等に関する記述(6年P123～124) ・東日本大震災に関する本の紹介、水害に関する本の紹介(6年P280・282)

発行者名	「教材名」	【掲載方法】	記述の概要(学年上/下 掲載ページ)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・「2年生の 本だな」 ・「いろいろなつたえ方」 ・「本から発見したことをつたえ合おう」 ・「点字の表」 ・「いろいろな手話」 ・「図書館へ行こう」 ・「『できない』の先に」 ・「ブックトークをしよう」 	<p>【掲載方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介 ・本文の一部、写真、イラスト ・本の紹介 ・点字と解説 ・イラストと解説 ・本文、写真 ・本文、写真、イラスト ・本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害に関する本の紹介(2年上P100) ・手話や点字等に関する記述(3年下P60～61) ・ダウン症に関する本の紹介(3年下P66) ・点字に関する記述(3年下P165) ・手話に関する記述(3年下P166) ・点字等に関する記述(4年上P31) ・ALS等に関する記述(4年上P110～111) ・視覚障害や聴覚障害等に関する本の紹介(4年下P74)
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・「2年生で読みたい本②」 ・「2年生で読みたい本④」 ・「3年生で読みたい本①」 ・「くらしを便利にするために」 ・「手話であいさつをしよう」 ・「『便利』をさがそう」 ・「4年生で読みたい本③」 ・「4年生で読みたい本④」 ・「6年生で読みたい本②」 ・「6年生で読みたい本③」 ・「6年生で読みたい本④」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介 ・本の紹介 ・本の紹介 ・本文、写真、本の紹介 ・本文、イラスト ・本文、写真、イラスト ・本の紹介 ・本の紹介 ・本の紹介 ・本の紹介 ・本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性四肢障害に関する本の紹介(2年上P146) ・視覚障害に関する本の紹介(2年下P151) ・視覚障害に関する本の紹介(3年上P141) ・聴覚障害や車椅子等に関する記述や本の紹介(4年下P82～91) ・手話に関する記述(4年下P92～93) ・点字や車椅子等に関する記述(4年下P94～101) ・車椅子、聴導犬、聴覚障害等に関する本の紹介(4年下P146～147) ・視覚障害に関する本の紹介(4年下P148) ・障害を抱える家族に関する本の紹介(6年上P134) ・視覚障害に関する本の紹介(6年下P141) ・義足に関する本の紹介(6年下P143)
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・「本のせかいを広げよう」 ・「本の世界を広げよう」 ・「本の世界を広げよう」 ・「本の世界を広げよう」 ・「みんなが使いやすいデザイン」 ・「あなたは、どう考える」 ・「点字と手話」 ・「本の世界を広げよう」 ・「公共図書館を活用しよう」 ・「私と本」 ・「星空を届けたい」 ・「ユニバーサルデザイン×天文教育」 ・「人間は他の生物と何がちがうのか」 ・「本の世界を広げよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介 ・本の紹介 ・本の紹介 ・本の紹介 ・本文、写真、イラスト ・本文、イラスト ・本文、写真、イラスト ・本の紹介 ・本文の一部、写真 ・本の紹介 ・本文、写真 ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性四肢障害に関する本の紹介(2年下P156) ・手話に関する本の紹介(3年上P146) ・手話に関する本の紹介(4年上P141) ・点字に関する本の紹介(4年下P159) ・ユニバーサルデザインに関する記述(5年P78～83) ・優先席に関する記述(5年P184～189) ・点字と手話に関する記述(5年P256～259) ・義足に関する本の紹介(5年P271) ・点字図書、大活字本等に関する記述(6年P42) ・視覚障害者用の点字等に関する記述や本の紹介(6年P86～87) ・視覚障害者用文字に関する記述(6年P89～95) ・ユニバーサルデザインに関する記述(6年P96～97) ・基本的人権に関する記述(6年P256～260) ・吃音に関する本の紹介、義足ダンサーに関する本の紹介(6年P280・283)

「別紙2-6」 【オリンピック・パラリンピックの扱い】（小学校 国語）

発行者名	「教材名」	【掲載方法】	記述の概要(学年上/下 掲載ページ)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・「新聞記事を読み比べよう」 ・「インターネットの投稿を読み比べよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の一部、写真、イラスト ・本文の一部 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックに関する記述(5年P93・96・98～99) ・東京オリンピックに関する記述(6年P97)
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・「4年生で読みたい本③」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック選手に関する本の紹介(4年下P146)
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・「新聞を読もう」 ・「公共図書館を活用しよう」 ・「私と本」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の一部、写真、イラスト ・本文の一部 ・本の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックに関する記述(5年P107～109) ・古代オリンピックに関する記述(6年P43) ・パラリンピックアスリートに関する本の紹介(6年P86)

発行者名	「教材名」	【掲載方法】	記述の概要(学年上/下 掲載ページ)
	・「世界は必ず変えられる」	・本文、写真	・女性の参政権に関する記述が見られ、男女平等などを考えられる教材(6年P108～109)
東書	・「ごんぎつね」 ・「注文の多い料理店」	・本文 ・本文	・「よそ行きの着物を着て、こしに手ぬぐいを下げたりした女たちが、表のかまどで火をたいています。」という記述が見られる。(4年下P44) ・「まちがえたんだ。下女がかげでも引いてまちがえを入れてんだ。」という記述が見られる。(5年P136)
教出	・「津田梅子 — 未来をきりひらく『人』への思い」 ・「ごんぎつね」 ・「雪わたり」	・本文、写真 ・本文 ・本文	・日本の女性の教育に関する記述が見られ、男女平等などを考えられる教材(6年下P96～109) ・「よそ行きの着物を着て、こしに手ぬぐいを下げたりした女たちが、表のかまどで火をたいています。」という記述が見られる。(4年下P14) ・「ははあ、学校生徒の父兄にあらずして十二歳以上のいらひんは入場をお断り申しそうらう。」という記述が見られる。(5年下P49)
光村	・「本の世界を広げよう」 ・「人間は他の生物と何が違うのか」 ・「いなばの白うさぎ」 ・「スーホの白い馬」 ・「ごんぎつね」 ・「ぼくのブック・ウーマン」	・本の紹介 ・本文、イラスト ・本文 ・本文 ・本文 ・本文	・無意識の思い込みについて考えることができる絵本「せかいでさいしよにズボンをはいた女の子」を紹介(3年上P146) ・性的な指向等を含む基本的な人権に関する記述が見られ、男女平等などを考えられる教材(6年P256～260) ・「さて、ある日、兄さんたちは、きれいなおひめさまをおよめにもらおうと、いなばの国へむかいました。」という記述が見られる。(2年上P147) ・「そして、一等になったものは、とのさまのむすめとけっこんさせるといのでした。」という記述が見られる。(2年下P118) ・「よそ行きの着物を着て、こしに手ぬぐいを下げたりした女たちが、表のかまどで火をたいています。」という記述が見られる。(4年下P20) ・「馬にまたがっているのは、男の人ではなくて、なんと、ひざだけのズボンをはいた、女の子の人だっことども。」(6年P176)

※ 発行者ごとの各欄の上段は、固定的な性別役割分担意識等について考えることができる教材

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(小学校 国語)

項目	ア 巻末資料		イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	ウ ユニバーサルデザインの視点	エ デジタルコンテンツの扱い	オ その他
	漢字のページ数	ページの総数（漢字以外）				
発行者			<p>・第1学年の巻末で「1年生で学ぼう」の冒頭で「言葉の力」というページ、第2学年以上の冒頭で「言葉の力」を兼ねようというページを、それぞれ設定し、当該学年で身に付けさせたい言葉の力を領域別に示し、1年間の見直しもつことができるようにしている。</p> <p>・第2学年以上の冒頭で「国語の学習の進め方」というページを設定し、「思い出す」、「見直す」、「取り組む」、「ふり返る」、「生かそう」というような学習過程を示している。</p> <p>・第2学年以上の冒頭で「国語のノート作り方」、第3学年以上の冒頭で「デジタルノートの作り方」を示している。</p>			<p>・第1学年から第6学年までは、上・下巻の2分冊となっている。第5学年から第6学年は年間1冊となっている。</p> <p>・第一教材(第1学年の最初に出台的教材)及び入門期に該当する教材は、24ページ扱っている。</p> <p>・教材とは別に紹介している図書の点数は、第1学年92冊、第2学年83冊、第3学年92冊、第4学年100冊、第5学年91冊、第6学年92冊、合計350冊である。</p>
東書	100	159	<p>・第1学年下巻の冒頭で「この本で学ぶこと」、第2学年以上の冒頭で「〇年生で学ぶこと」というページを、それぞれ設定し、1年間の学習の見直しを領域別に示している。</p> <p>・第2学年以上の上巻の終末で「つながる ひろがる」というページを設定し、どのようなことを学習してきたのかを確かめたり、どのようなことができるようになるか、何をノートに書いたりするなどの活動を設定している。</p> <p>・第1学年から第5学年までの下巻の終末で「これまで、これから」というページ、第6学年の下巻の終末では「出会った言葉をふり返ろう」というページを、それぞれ設定している。</p>	<p>・ユニバーサルデザインソフトを採用している。また、全ての児童の色覚特性に適合するデザインを採用している。</p>	<p>・二次元コードがあり、学習に役立つ様々な資料を、ウェブサイトで閲覧することができる。</p>	<p>・第1学年から第6学年まで、上・下巻の2分冊となっている。</p> <p>・第一教材(第1学年の最初に出台的教材)及び入門期に該当する教材は、22ページ扱っている。</p> <p>・教材とは別に紹介している図書の点数は、第1学年86冊、第2学年88冊、第3学年87冊、第4学年87冊、第5学年83冊、第6学年81冊、合計321冊である。</p>
教出	144	255	<p>・第2学年以上の冒頭で「国語の学びを見わたそう」というページを設定し、「(学習や生活の中で)見直しもつ、問ひをもつ」、「一人で見つかり考える」、「みんなできよく考える」、「ふりかえる」、「学習や生活にいかす」というような学習過程を示している。</p> <p>・第2学年以上で、「話すこと」及び「書くこと」の単元で「確かめよう」、「見直しをもつ」、「ふりかえろう」という学習過程を示し、「読むこと」の単元では、「見直しをもつ」、「とらえよう—ふかめよう—まよめよう—ひろげよう」、「ふりかえろう」という学習過程を示している。</p>	<p>・カラーユニバーサルデザインを採用している。また、児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用し、小さい文字には見やすくましがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用している。</p>	<p>・二次元コードを掲載し、学習の参考となる動画等の資料を、ウェブサイトで閲覧することができる。</p>	<p>・第1学年から第7学年までは、上・下巻の2分冊となっている。第5学年から第6学年は年間1冊となっている。</p> <p>・第一教材(第1学年の最初に出台的教材)及び第1学年の入門期に該当する教材は、24ページ扱っている。</p> <p>・教材とは別に紹介している図書の点数は、第1学年61冊、第2学年85冊、第3学年88冊、第4学年84冊、第5学年79冊、第6学年96冊、合計493冊である。</p>
光村	96	198				
平均値	68.0	122.4				